

63 大阪城内に残る戦争の傷跡について

大阪城公園内に残る戦争の傷あと

先の戦争においては我が国は、アジア・太平洋地域の人々に対し大きな災禍と苦痛をもたらしたことを忘れてはなりません。大阪においても8次にわたる大空襲を、約50回を超える空襲を受け、まちは一面の焦墟となりました。

ここ、大阪城公園も幾多の空襲により、1トン爆弾による大阪城天守閣の七重のすべり（天守閣東北隅）や機銃掃射による石垣の弾痕のあと（天守閣の北・山崎前橋河原の石垣）をはじめ、空襲によると思われる石垣のずれなど数多くの戦争の傷あとを残しています。

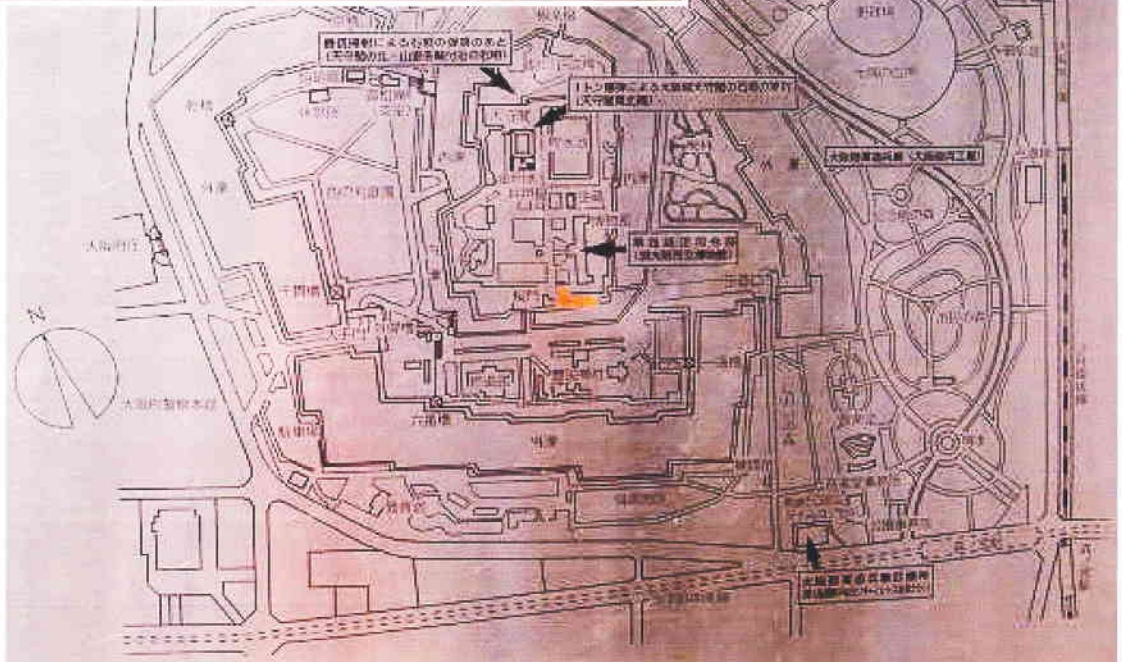
当時、公園内には軍事施設が多数あり、その中でも、第四師団司令部として使われた庁舎（現大阪市博物館）は、軍事施設として大阪市内で現存している最も規模の大きな建物です。

また、公園東側一帯に広がっていた大阪陸軍造兵廠（大阪砲兵工廠）は、面積上は平方キロの我が国最大規模の兵器工場であり、戦争末期には大阪本廠を含めた全工場で一般工員のほかに動員学徒・女子挺身隊・一般徴用工員など64,000人が働いていました。その中には、当時の植民地支配の下で強制連行などにより始められた120人以上と言われる朝鮮青年も含まれていました。

大阪陸軍造兵廠は、1945年（昭和20年）8月14日の激烈な爆撃により焼滅し、今では科学分所場として利用された施設（元自衛隊大阪地方連絡部）など一部を残すのみとなり、本館があった場所には多目的利用ができるホールとして「大阪城ホール」が建ち、診療所があった場所には、大阪府・大阪市が共同で世界の平和と繁栄に貢献的に貢献する施設として設立した「大阪国際平和センター（ピースおおさか）」があります。

戦後50周年にあたり、戦争の悲惨さを語り継ぎ、国格・民族・文化等の違いを超えた相互理解と友好を深め、世界平和を心から願う気持ちを込め、ここに銅板を設置します。

1996年（平成8年）3月
大阪府／大阪市



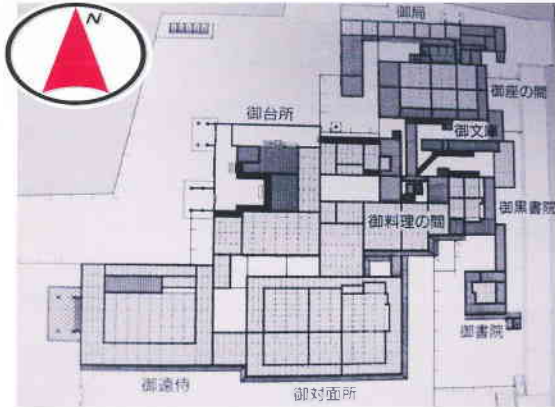
64 徳川期本丸御殿 玄関跡

- 徳川期の大坂城本丸御殿は、天守閣と同様、壮大な規模を有する建物で、天守閣が落雷により焼失した寛文5年（1665）から慶応4年（1868）1月の幕末まで重要な役割を成した建物です。その本丸御殿の玄関が桜門を入ってすぐのところにあります。（絵図参照）玄関は、四半敷の石の間になっていました。



65 豊臣期本丸表御殿跡

- 豊臣期の大坂城本丸表御殿は、現在の旧大阪市立博物館建物の南側周辺にありました。大規模な御遠侍・御対面所を構えた表向体面用の御殿でした。



66 明治天皇駐蹕之所 / 大阪城址

- 明治天皇は5回大阪城を訪れています。
慶応4年(1868)の行幸の折、城内にて諸藩(薩摩、長州、熊本、広島、尾張、福井など22藩)の兵士の操練(歩兵訓練、砲術、馬術)をご覧になっています。(慶応4年4月6日、14日、閏4月5日の計3日)
明治5年(1872)の行幸では、6月6日に大阪鎮台本営、鎮台病院などを訪れました。
明治10年(1887)の行幸では、再び大阪鎮台と臨時軍事病院で西南戦争での傷病兵を慰問しています。
明治22年(1889)の行幸では、2月15日に場外練兵場での観兵式に臨まれました。
明治31年(1898)の行幸では、陸軍特別大演習の際、ここを大本営と定めています。



67 紀州御殿跡

- ▶ 和歌山城二の丸にあった書院造の御殿が、明治18年(1885)大阪城本丸に移築されました。当時、陸軍は大阪鎮台と呼ばれており、和歌山も同じ管轄下にあったため、移築が容易に可能だったといわれています。この御殿は「紀州御殿」と称され、大阪鎮台(のちに第四師団司令部に改称)の本庁舎として使用されました。明治天皇が明治20年(1887)、同31年(1898)に大阪行幸の際、この紀州御殿が行在所となりました。昭和6年(1931)、大阪城天守閣が復興され、紀州御殿の管轄が軍から大阪市に変わりました。以後、迎賓館として利用されました。昭和8年(1933)、昭和天皇の行在所となり「天臨閣」と改称されました。昭和20年(1945)、大空襲時には天守閣同様、奇跡的に焼失せずに済みます。日本の敗戦により大阪城はアメリカ軍の占領下となり、昭和22年(1947)9月12日夜、失火により全焼してしまいました。



紀州御殿の古写真



紀州御殿跡

68 徳川慶喜面前でのイギリス軍隊の訓練実施地

- ▶ イギリス公使との謁見の際、徳川慶喜は公使館の騎馬護衛兵を見たいと希望したので、騎馬護衛兵は内廷(大広間前広場)に案内され、アブリン大尉の指揮の下に、見事な乗馬を披露しました。その場所は、現在大阪城 天守閣前本丸広場にある池より南側乾舞台の北側に該当します。



イギリス軍隊の訓練実施地跡